

八王子市新型コロナウイルス感染症 地域医療体制支援拠点の設置について

新型コロナウイルス感染症の新規陽性者数の急増に伴い、市内のコロナ患者受入れ病院は満床となり、その結果、自宅療養者も激増している。

このような災害級の非常事態にあたり、医療提供体制の機能を維持して市民の命を守るため、八王子市と八王子市医師会、市内医療機関が一体となった「八王子市新型コロナウイルス感染症 地域医療体制支援拠点」を下記のとおり設置します。

※市内自宅療養者数：924人（8月15日現在の速報値）

記

1. 機能

保健所や診療所からの情報に基づき、入院となりうる感染者の情報及び病院に入院中の感染者のうち早期に転院・退院可能な患者の情報を一元管理することで、市内の感染者の早期入院をサポートする。（裏面イメージ参照）

2. 主な業務

- ① コロナ受入れ病院病床使用状況一覧作成
- ② 要入院調整・退院調整可能者リスト作成（保健所、診療所等、病院間）
- ③ 診療所等受診（入院適用判断）調整・受診手段確保（民間救急車・陰圧車等）
- ④ 退院者フォローアップ診療所等連絡 ほか

3. 体制

- ① 市職員 9名（保健所長・統括・副統括・保健師課長2名 ほか4名）
- ② 災害医療コーディネーター 2名（東海大学医学部附属八王子病院、南多摩病院）
- ③ 支援調整アドバイザー 1名（東京医科大学八王子医療センター）

4. 設置場所

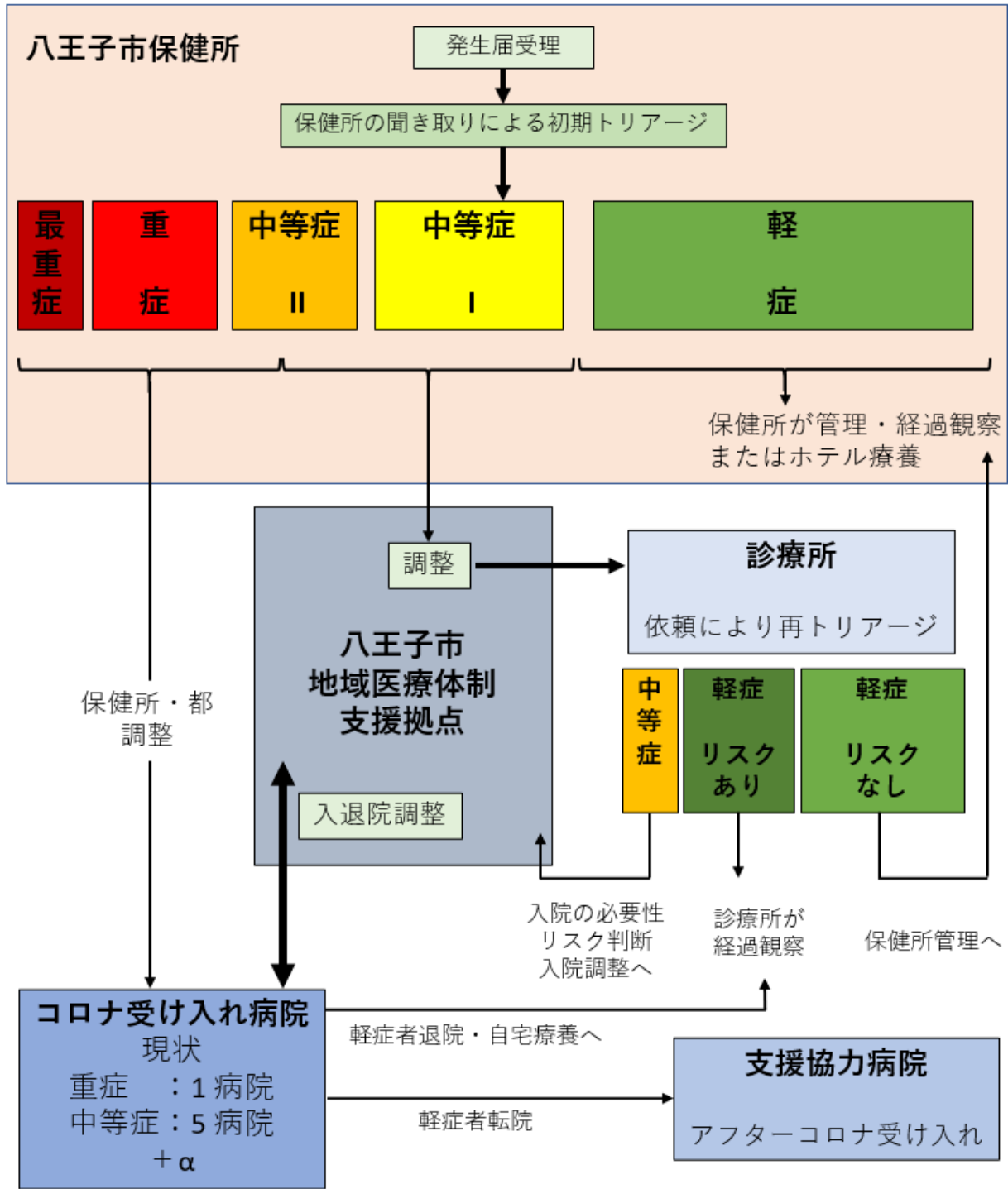
八王子市役所 本庁舎1階 医療保険部内

5. 設置期間

令和3年（2021年）8月16日（月）から当面の間

<問い合わせ> 医療保険部・健康部 地域医療体制整備チーム 担当課長 菅野
電話 042-620-7473

新型コロナウイルス感染者の療養の全体像

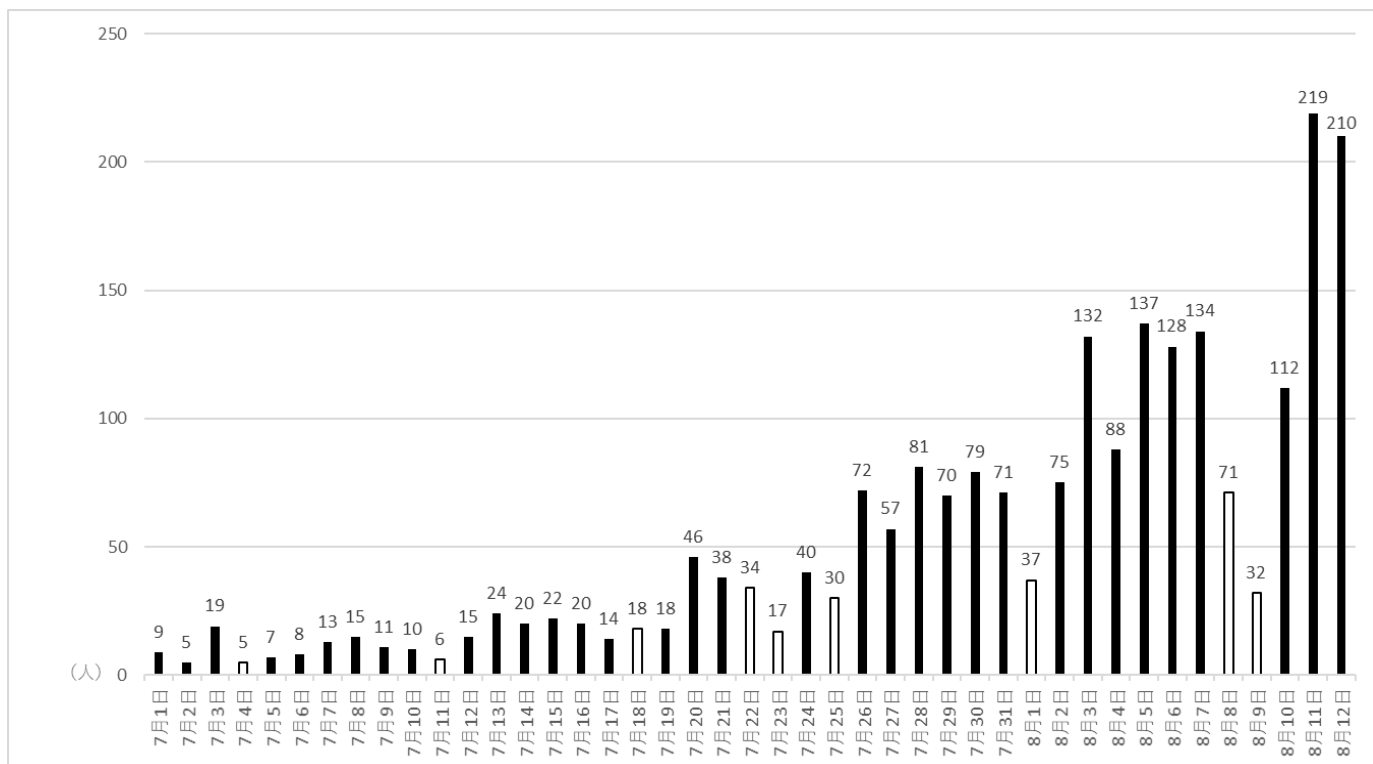


+入院待機ステーション

- ※ 保健所による初期トリアージも
診療所における再トリアージも
経過観察中に重症度は常に変化する
- ※ 初期トリアージ後の方針は
今後の感染拡大状況に応じて変化する

八王子市の状況

(1) 新規陽性者数の推移 (7月1日～8月12日)



※白抜きグラフは、日曜・祝日の数値

(2) 自宅療養者数の推移 (7月1日～8月12日)

